

博多港港湾計画 一部変更

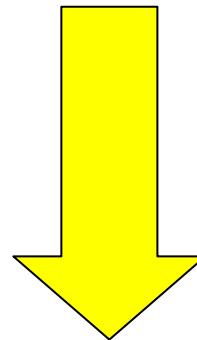
平成17年11月18日
交通政策審議会
第16回港湾分科会

資料5



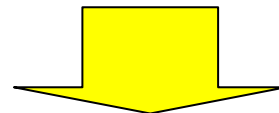
【背 景】

平成17年3月に福岡県西方沖地震（M7.0）が発生



【課 題】

- 各方面から大規模地震対策施設の重要性や早期整備の必要性が指摘されている。
- 博多港は、背後圏の経済活動や市民生活を支える重要な機能を有しており、国際海上コンテナ輸送機能を維持することが必要不可欠。



【対 応】

大規模地震が発生した場合に、必要な国際海上コンテナ輸送機能を確保するため、地域特性なども踏まえ、幹線貨物輸送対応の耐震強化岸壁を整備する。

【計画変更の内容】

大規模地震対策施設計画（幹線貨物輸送対応）の変更

○耐震強化岸壁を2バースに変更

水深15m 岸壁2バース 延長700m（コンテナ船用）

○臨港道路を大規模地震対策施設として位置づける

